

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名称	ヤカンブチズイドウ		路線名	村道 第38号線		管理者名	王滝村役場		緊急輸送道路	なし					
	薬罐渊隧道								代替路の有無	なし					
所在地	自	長野県木曾郡王滝村	点検業者・点検者名	㈱千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日		トンネル延長	L= 47.70 m					
	至	長野県木曾郡王滝村	調査業者・調査技術者名			調査年月日			トンネルの分類	その他					
起点	緯度	35° 48' 21"	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体内工	材質劣化	Ⅱ	13 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅲ	附属物の 取付状態	×
終点	経度	137° 28' 20"			漏水	Ⅱ	20 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所				
	緯度	35° 48' 21"			外力	Ⅱ	0 スパン	Ⅲ	1 スパン	Ⅳ	0 スパン				0箇所
	経度	137° 28' 19"													

トンネル変状・異常箇所写真位置図



写真番号の記載例

写真-【覆工スパン番号】-【変状番号 1~】
 写真-【覆工スパン番号】-【異常番号101~】

- 注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。
- 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。
- 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。
- 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
- 注5：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

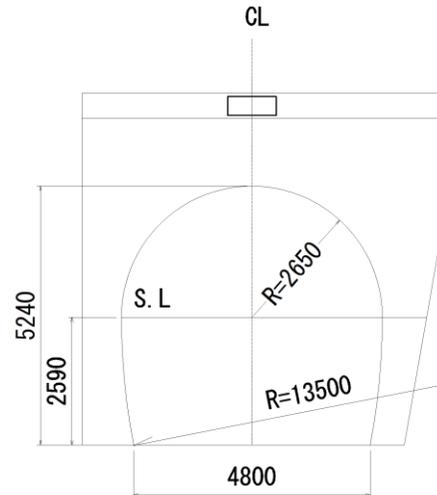
- ※1 トンネル本体内工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- ※2 本体内工の変状に対しては、判定区分Ⅱ~Ⅳ(対策実施後のⅠを含む)について記載すること。
- ※3 附属物の異常に対しては、判定区分×(対策実施後の○を含む)について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

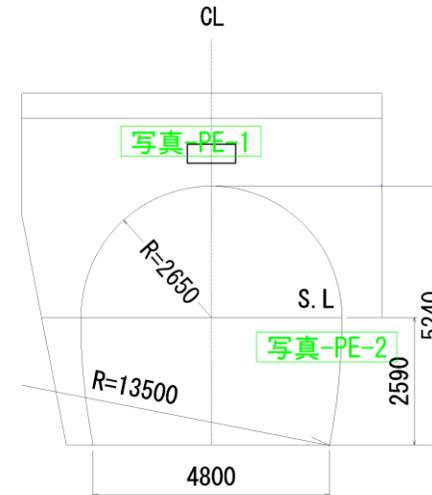
フリガナ 名称	ヤカンブチズイドウ		路線名	村道 第38号線			管理者名	王滝村役場			緊急輸送道路	なし			
	薬罐淵隧道										代替路の有無	なし			
所在地	自	長野県木曾郡王滝村	点検業者・点検者名	㈱千代田コンサルタント・柴山敬三郎			点検年月日	2018年11月5日		トンネル延長	L= 47.70 m				
	至	長野県木曾郡王滝村	調査業者・調査技術者名				調査年月日			トンネルの分類	その他				
起点	緯度	35° 48' 21"	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体内	材質劣化	Ⅱ	13 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅲ	附属物の 取付状態	×
	経度	137° 28' 20"			漏水	Ⅱ	20 箇所	Ⅲ	0 箇所	Ⅳ	0 箇所				
終点	緯度	35° 48' 21"			外力	Ⅱ	0 スパン	Ⅲ	1 スパン	Ⅳ	0 スパン				0箇所
	経度	137° 28' 19"													

トンネル変状・異常箇所写真位置図

起点側坑門工



終点側坑門工



写真番号の記載例

写真-【覆工スパン番号】-【変状番号 1~】
 写真-【覆工スパン番号】-【異常番号101~】

- 注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。
 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。
 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。
 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
 注5：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

※1 トンネル本体内の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。

※2 本体内の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ（対策実施後のⅠを含む）について記載すること。

※3 附属物の異常に対しては、判定区分×（対策実施後の○を含む）について記載すること。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日		
名称		薬罐渊隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	PE		変状 番号	1		写真 番号	覆工 スパン 番号	PE		変状 番号	2	
	変状 部位	対象 箇所	坑口		変状 部位	対象 箇所		坑口					
	部位 区分	面壁			部位 区分	面壁			部位 区分	面壁			
	変状区分	材質劣化			変状区分	外力			変状区分	外力			
	変状種類	うき・はく離			変状種類	ひび割れ			変状種類	ひび割れ			
健全性	点検・調査後	II		健全性	点検・調査後	II		点検・調査後	II		点検・調査後		
	措置後				措置後				措置後			措置後	
変状の発生範囲の規模		0.03㎡ 0.1m×0.3m		変状の発生範囲の規模		2.6㎡ 2.6m×1.0m		変状の発生範囲の規模		2.6㎡ 2.6m×1.0m			
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし			
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)	
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)	
メモ		終点側面壁の打音異常。軽微なため利用者への影響は少ない。II b		メモ		終点側坑門脚部(谷側)に複数のひび割れ。打音異常を伴う。II a		メモ		終点側坑門脚部(谷側)に複数のひび割れ。打音異常を伴う。II a			
写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 番号		
	変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所							
	部位 区分				部位 区分				部位 区分				
	変状区分				変状区分				変状区分				
	変状種類				変状種類				変状種類				
健全性	点検・調査後			健全性	点検・調査後			点検・調査後			点検・調査後		
	措置後				措置後				措置後			措置後	
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模					
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態					
調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)	
措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)	
メモ				メモ				メモ					



※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日			
名称		薬罐洩隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真番号	覆工スパン番号	S1		写真	スパン番号	S1		変状番号	1		変状部位	対象箇所	覆工	
	変状番号	1				部位区分	天端							
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位	対象箇所	覆工		変状区分	漏水		変状種類	滴水		
	部位区分	天端			部位区分	天端								
健全性		点検・調査後	II		措置後				健全性		点検・調査後	II		
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模		0.01㎡	0.1m×0.1m			
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし	実施状況(実施日)			
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)			調査(方針)		なし	実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)			措置(方針)		なし	実施状況(実施日)					
メモ		天端目地からの滴水(雨天時のみ)。路面滞水を伴う。II a		メモ		天端目地からの滴水(雨天時のみ)。アーチ部へのじみと少量の路面滞水を伴う。II a								
写真番号	覆工スパン番号	S1		写真	スパン番号	S1		変状番号	3		変状部位	対象箇所	覆工	
	変状番号	3				部位区分	左側壁							
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位	対象箇所	路面		変状区分	漏水		変状種類	にじみ		
	部位区分	左側壁			部位区分	車道								
健全性		点検・調査後	II		措置後				健全性		点検・調査後	II		
措置後				措置後				変状の発生範囲の規模		0.06㎡	0.4m×0.4m			
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし	実施状況(実施日)			
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)			調査(方針)		なし	実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)			措置(方針)		なし	実施状況(実施日)					
メモ		左側壁横断目地からの湧水。遊離石灰を伴う。II b		メモ		S1-1の滴水による少量の滞水。軽微なため利用者への影響は少ない。II b								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日		
名称		薬罐洩隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真番号	覆工スパン番号	S1		写真			写真番号	覆工スパン番号	S2		写真		
	変状番号	5						変状番号	1				
変状部位	対象箇所	路面		変状部位			変状部位	対象箇所	覆工		変状部位		
	部位区分	車道						部位区分	左アーチ				
変状区分		漏水		変状区分		漏水		変状種類		にじみ			
健全性	点検・調査後	II		健全性			点検・調査後	II		健全性			
	措置後							措置後					
変状の発生範囲の規模		0.04㎡ 0.2m×0.2m		変状の発生範囲の規模		0.8㎡ 0.4m×2.0m		前回点検時の状態		なし			
前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		S1-2の滴水による少量の滞水。軽微なため利用者への影響は少ない。II b		メモ		左アーチ部横断目地からの湧水。II b							
写真番号	覆工スパン番号	S2		写真			写真番号	覆工スパン番号	S2		写真		
	変状番号	2						変状番号	3				
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位			変状部位	対象箇所	覆工		変状部位		
	部位区分	右アーチ						部位区分	左アーチ				
変状区分		漏水		変状区分		材質劣化		変状種類		はく落			
健全性	点検・調査後	II		健全性			点検・調査後	II		健全性			
	措置後							措置後					
変状の発生範囲の規模		4.0㎡ 0.4m×1.0m		変状の発生範囲の規模		0.45㎡ 0.3m×1.5m		前回点検時の状態		なし			
前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		左アーチ部横断目地からの湧水。II b		メモ		左アーチ部横断目地のはく落。周囲に新たな打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。II b							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンブチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日		
名称		薬罐洩隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真番号	覆工スパン番号	S2		写真			写真番号	覆工スパン番号	S2		写真		
	変状番号	4						変状番号	5				
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位			対象箇所	覆工		変状部位			
	部位区分	天端						部位区分	左側壁				
変状区分		材質劣化		変状区分		漏水		変状種類		にじみ			
健全性		点検・調査後	II		健全性		点検・調査後	II		措置後			
変状の発生範囲の規模		1.05㎡ 0.3m×3.5m		変状の発生範囲の規模		0.1㎡ 0.2m×0.5m							
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし							
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		天端からアーチ部横断目地にかけてのはく落。周囲に新たな打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。II b		メモ		左側壁ひび割れからの湧水。遊離石灰を伴う。II b							
写真番号	覆工スパン番号	S2		写真			写真番号	覆工スパン番号	S2		写真		
	変状番号	6						変状番号	7				
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位			対象箇所	覆工		変状部位			
	部位区分	左アーチ						部位区分	右アーチ				
変状区分		漏水		変状区分		外力		変状種類		ひび割れ			
健全性		点検・調査後	II		健全性		点検・調査後	III		措置後			
変状の発生範囲の規模		3.0㎡ 0.3m×1.0m		変状の発生範囲の規模		9.0㎡ 3.0m×3.0m							
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし							
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		左アーチ部ひび割れからの湧水。遊離石灰を伴う。II b		メモ		点荷重(外力)による放射状のひび割れ。漏水を伴う。							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンブチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日			
名称		薬罐渊隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真番号	覆工スパン番号	S2		写真	スパン番号	S3		変状番号	8		変状部位	対象箇所	覆工	
	変状番号	8				部位区分	右側壁							
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位	対象箇所	覆工		変状区分	漏水		変状種類	にじみ		
	部位区分	右側壁			部位区分	左アーチ								
健全性		点検・調査後	II		変状の発生範囲の規模		0.45㎡	0.3m×1.5m		前回点検時の状態		なし		
		措置後			調査(方針)		なし	実施状況(実施日)						
		措置後			措置(方針)		なし	実施状況(実施日)						
メモ		右側壁ひび割れからの湧水。II b												
写真番号	覆工スパン番号	S3		写真	スパン番号	S3		変状番号	2		変状部位	対象箇所	覆工	
	変状番号	2				部位区分	左アーチ							
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位	対象箇所	覆工		変状区分	漏水		変状種類	にじみ		
	部位区分	左アーチ			部位区分	左側壁								
健全性		点検・調査後	II		変状の発生範囲の規模		5.0㎡	1.0m×5.0m		前回点検時の状態		なし		
		措置後			調査(方針)		なし	実施状況(実施日)						
		措置後			措置(方針)		なし	実施状況(実施日)						
メモ		右側壁ひび割れからの湧水。遊離石灰を伴う。利用者への影響は少ない。II b												
写真番号	覆工スパン番号	S3		写真	スパン番号	S3		変状番号	3		変状部位	対象箇所	覆工	
	変状番号	3				部位区分	左側壁							
変状部位	対象箇所	覆工		変状部位	対象箇所	覆工		変状区分	漏水		変状種類	にじみ		
	部位区分	左アーチ			部位区分	左側壁								
健全性		点検・調査後	II		変状の発生範囲の規模		0.08㎡	0.2m×0.4m		前回点検時の状態		なし		
		措置後			調査(方針)		なし	実施状況(実施日)						
		措置後			措置(方針)		なし	実施状況(実施日)						
メモ		右側壁ひび割れからの湧水。遊離石灰を伴う。利用者への影響は少ない。II b												

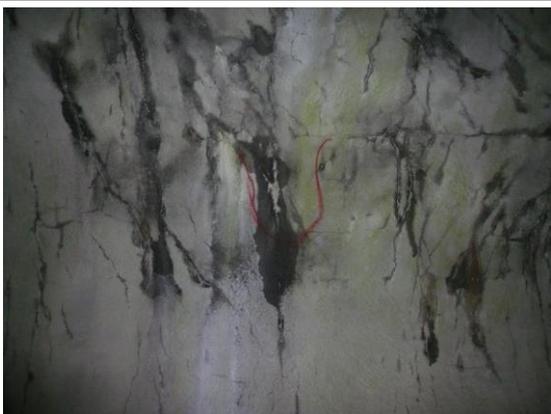
※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日		
名称		薬罐洩隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真番号	覆工スパン番号	S3			写真番号	覆工スパン番号	S3			変状番号	変状番号	4	
	変状部位	対象箇所	覆工			変状部位	対象箇所	覆工					
	部位区分	左側壁				部位区分	左側壁						
変状区分		漏水			変状区分		漏水						
変状種類		にじみ			変状種類		にじみ						
健全性	点検・調査後	II			健全性	点検・調査後	II						
	措置後					措置後							
変状の発生範囲の規模		0.04㎡ 0.2m×0.2m			変状の発生範囲の規模		0.3㎡ 0.3m×1.0m						
前回点検時の状態		なし			前回点検時の状態		なし						
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)		調査(方針)		なし	実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)	措置(方針)		なし	実施状況(実施日)						
メモ		左側壁表面からの湧水。遊離石灰を伴う。II b		メモ		左側壁表面からの湧水。遊離石灰を伴う。II b							
写真番号	覆工スパン番号	S3			写真番号	覆工スパン番号	S3			変状番号	変状番号	6	
	変状部位	対象箇所	覆工			変状部位	対象箇所	覆工					
	部位区分	右アーチ				部位区分	左アーチ						
変状区分		漏水			変状区分		材質劣化						
変状種類		にじみ			変状種類		うき・はく離						
健全性	点検・調査後	II			健全性	点検・調査後	II						
	措置後					措置後							
変状の発生範囲の規模		0.3㎡ 0.3m×1.0m			変状の発生範囲の規模		0.2㎡ 0.5m×0.4m						
前回点検時の状態		なし			前回点検時の状態		なし						
調査(方針)		なし	実施状況(実施日)		調査(方針)		なし	実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし	実施状況(実施日)	措置(方針)		なし	実施状況(実施日)						
メモ		右アーチ部ひび割れからの湧水。遊離石灰を伴う。II b		メモ		左アーチ部表面の打音異常。II b							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

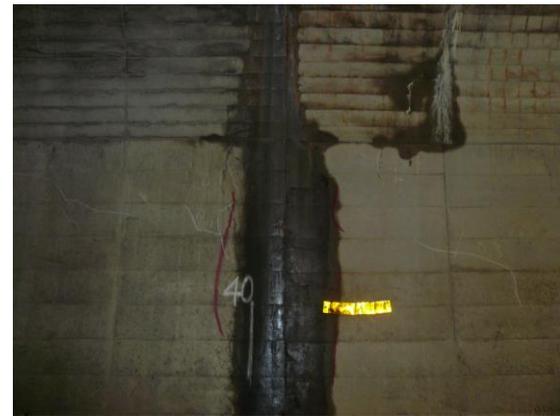
※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンブチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日					
名称		薬罐洩隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日						
写真 番号	覆工 スパン 番号	S4		写真 番号	覆工 スパン 番号	S5		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化			
	変状 番号	1			変状 番号	1			部位 区分	天端			変状 種類	豆板(ジャンカ)		
対象 箇所		覆工		対象 箇所		覆工		部位 区分		左アーチ		変状 種類		にじみ		
健全性		点検・調査後	II		点検・調査後		II		措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.75㎡ 0.3m×2.5m		変状の発生範囲の規模		5.5㎡ 1.0m×5.5m		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)		なし		実施状況(実施日)				
メモ		天端からアーチ部横断目地にかけての豆板(ジャンカ)。周囲に打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。II b		メモ		左アーチ部横断目地からの湧水。遊離石灰を伴う。II b										
写真 番号	覆工 スパン 番号	S5		写真 番号	覆工 スパン 番号	S5		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	漏水			
	変状 番号	2			変状 番号	3			部位 区分	右アーチ			変状 種類	にじみ		
対象 箇所		覆工		対象 箇所		覆工		部位 区分		天端		変状 種類		うき・はく離		
健全性		点検・調査後	II		点検・調査後		II		措置後				措置後			
変状の発生範囲の規模		0.4㎡ 0.8m×5.0m		変状の発生範囲の規模		0.05㎡ 0.5m×0.1m		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		
前回点検時の状態		なし		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)		なし		実施状況(実施日)				
メモ		右アーチ部横断目地からの湧水。遊離石灰を伴う。II b		メモ		天端横断目地のうき・はく離。軽微なため利用者への影響は少ない。II b										



※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日		
名称		薬罐渊隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真 番号	覆工 スパン 番号	S5		写真 番号	覆工 スパン 番号	S5		変状 部位	対象 箇所	覆工		写真	
	変状 番号	4			変状 番号	5			部位 区分	右アーチ			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化		変状 種類	うき・はく離	
	部位 区分	天端			部位 区分	右アーチ			材質劣化			うき・はく離	
健全性		点検・調査後	II		点検・調査後		II		措置後				
変状の発生範囲の規模		0.04㎡ 0.2m×0.2m		変状の発生範囲の規模		0.08㎡ 0.2m×0.4m		前回点検時の状態		なし			
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		天端横断目地のはく落。周囲に新たな打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。II b		メモ		右アーチ部横断目地の打音異常。II b							
写真 番号	覆工 スパン 番号	S6		写真 番号	覆工 スパン 番号	S6		変状 部位	対象 箇所	覆工		写真	
	変状 番号	1			変状 番号	2			部位 区分	右側壁			
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	漏水		変状 種類	にじみ	
	部位 区分	右側壁			部位 区分	右側壁			漏水			にじみ	
健全性		点検・調査後	II		点検・調査後		II		措置後				
変状の発生範囲の規模		3.0㎡ 1.0m×3.0m		変状の発生範囲の規模		1.6㎡ 0.8m×2.0m		前回点検時の状態		なし			
調査(方針)		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)					
措置(方針)		なし		措置(方針)		なし		実施状況(実施日)					
メモ		右側壁横断目地からの湧水。遊離石灰を伴う。II b		メモ		右側壁横断目地からの湧水。遊離石灰を伴う。II b							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。

※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。

※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ヤカンブチズイドウ		路線名	村道 第38号線		点検業者・点検者名	(株)千代田コンサルタント・柴山敬三郎		点検年月日	2018年11月5日									
名称		薬罐渊隧道		管理者名	王滝村役場		調査業者・調査技術者名			調査年月日										
写真 番号	覆工 スパン 番号	S6		写真 番号	覆工 スパン 番号	S6		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化							
	変状 番号	3			変状 番号	4			部位 区分	右アーチ			変状 種類	豆板(ジャンカ)						
健全性		点検・調査後	II		措置後				健全性		点検・調査後	II		措置後						
変状の発生範囲の規模		0.35㎡ 0.5m×0.7m		変状の発生範囲の規模		0.72㎡ 0.4m×1.8m		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				
調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				措置(方針)		なし		
措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				メモ		右アーチ部表面の豆板(ジャンカ)。周囲に打音異常を伴わないため、利用者への影響は少ない。II b		
写真 番号		覆工 スパン 番号	S6		写真 番号		覆工 スパン 番号	S6		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化		健全性	点検・調査後	II	
変状 番号		5		変状 番号		6		部位 区分	右アーチ		変状 種類	うき・はく離			措置後					
変状の発生範囲の規模		1.6㎡ 3.2m×0.5m		変状の発生範囲の規模		2.0㎡ 4.0m×0.5m		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				
調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				措置(方針)		なし		
措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				メモ		横断目地からの漏水。II b		
写真 番号		覆工 スパン 番号	S6		写真 番号		覆工 スパン 番号	S6		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	材質劣化		健全性	点検・調査後	II	
変状 番号		5		変状 番号		6		部位 区分	左側壁		変状 種類	うき・はく離			措置後					
変状の発生範囲の規模		1.6㎡ 3.2m×0.5m		変状の発生範囲の規模		2.0㎡ 4.0m×0.5m		前回点検時の状態		なし		調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				
調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				調査(方針)		なし		実施状況(実施日)				措置(方針)		なし		
措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				措置(方針)		なし		実施状況(実施日)				メモ		横断目地からの漏水。II b		

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。